

114  
A2391



去月廿九日大隈參議申立則此許可  
趣以別紙之通吉田大藏大輔申達其旨  
古字申出申以檢印之上以返却其旨  
致度此段申進也

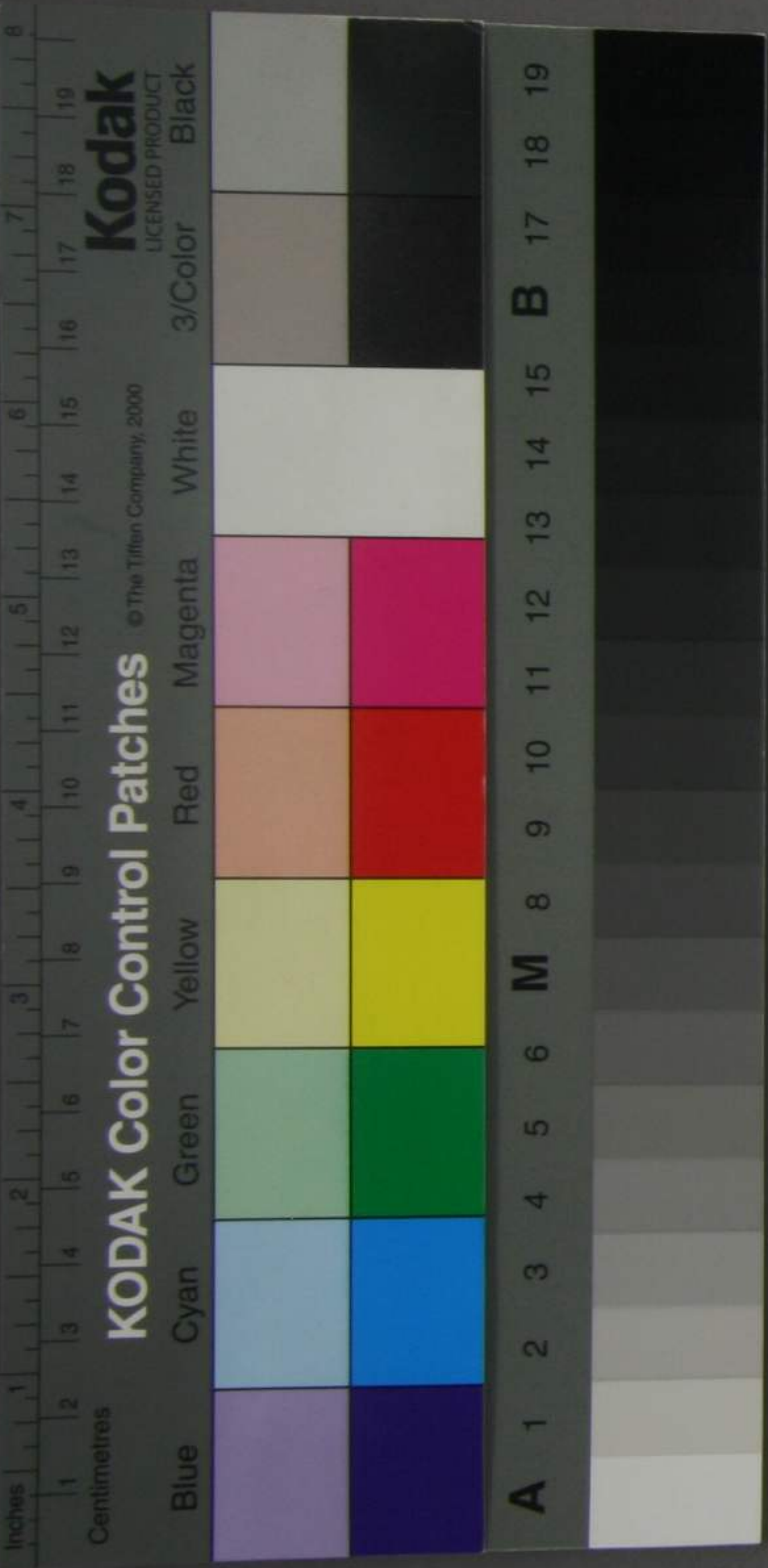
壬申九月八日

大藏大輔井上馨

正院 口中

大正十一年四月  
大隈侯爵郵務  
贈月

1047







公債呼高ハ更ニ子万金ニ更ニ所額

一子万金ニ限高者リ多額為増ナカルヘシ

右一子万金ノ別定ハ一ヶ年ハア半以上ハ裁ユヘカラス

ナル地味發強急スヘシ公債證書呼高ノ所額

ヲ減スヘカラスハア半以下ヲ以テハア半現額口帳ニ裁

ストモ妨ナシ

右ニテ條ハ更ニ別定ノ由委任權利ノニテ是等ノ事

正ニ実証ナル補強ト見テ思ハテ若クモ其修ハ

大隈参議 受託権利を吉田が補清成  
より得た事なる也

大隈大輔  
大隈卯代理

井上馨

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*